

平成28年度秋田県農山村ふるさと保全検討委員会

【資料4】

「守りたい秋田の里地里山50」推薦地区について

「守りたい秋田の里地里山50」推薦地区について

1 募集期間

募集要領第7の1のとおり、平成27年4月20日から6月30日まで実施

2 応募地区数

8市町村から合計10地区推薦

3 現地の確認

- 8月5日（県南）、8月10日（中央）、8月18日（県北）
募集要領第5の1により県が現地を確認（全地区）

- 8月29日 秋田県ふるさと保全検討委員会による現地の確認
地区：須郷（由利本荘市）、落合（羽後町）
参加者：長濱委員、渡辺委員
市町村担当者、地元代表等の立ち会いの下、現地を確認

4 評価について

- 募集要領第5の2の（2）により県が実施
- 評価は景観（10）、活動状況（20）、PRポイント（20）合計50点満点とし、審議の対象は35点以上

5 認定について

- 募集要領第5の2の（1）により、委員会で審議し、秋田県農林水産部長が認定

6 認定後のサポート等について（募集要領第6）

- 認定地区を県のホームページ等でPRし、魅力を積極的に発信する
- 棚田等の保全に関する全国研修会等に、予算の範囲内で参加することができることとしており、今年度は「第15回全国グリーン・ツーリズムネットワーク愛媛大会」への参加を予定している
- 農林水産部農山村振興課で実施する、基金を活用した事業を優先的に進める
- その他ソフト面、ハード面から支援する

「守りたい秋田の里地里山50」募集要領

第1 趣 旨

急傾斜地に広がる棚田などの農地は、これまで、地域の先人たちの絶え間ない努力によって保全されてきましたが、急峻・狭小であるなど、地形上、厳しい生産条件にあるとともに、近年の過疎化、高齢化の進行により、維持管理が困難な状況に直面しており、その荒廃が懸念されています。

一方、これらの農地は、冷涼な気候などを活かした多彩な作物の農業生産地域であるとともに、急峻な地形を巧みに利用した営農の継続によって、下流地域への洪水発生抑止や地下水涵養など様々な公益的機能が発揮されることで、単に生産基盤にとどまらない多様な役割を担っていることが再認識されており、県内においても多くの地域で、地域住民が主体となった保全活動が続けられています。

こうしたことから、農山村の農地の有する公益的機能を県民共有の財産として次世代に引き継ぐため、地域住民の主体的な維持管理による優れた景観に加え、自然・文化・歴史・人など多様な地域資源を活用し、環境・交流活動にも取り組んでいる地域を、「守りたい秋田の里地里山50」として募集します。

選定された地域で取り組まれている活動を優良事例として紹介し、農地の維持・保全の取組に関する普及啓発を行うとともに、その魅力を積極的に発信することによって、これらの農地の維持活動を通じた交流人口の更なる拡大や、維持活動に対する地域外からの様々な支援を促進することを目的としています。

なお、「50」は、住民による主体的な保全活動や環境・交流活動に取り組む地域が将来的に県内で50か所以上となるよう目標数値として掲げたものです。

第2 対象地域について

対象とする地域は、次の項目を満たす箇所とします。

- 1 地形勾配が概ね1/20以上の急峻な水田を含み、営農が一体的な1ha以上の広がりがあり、維持管理が行き届いていること。
- 2 地域住民が参加する景観・環境を保全する活動や、地域資源を活かした交流活動などに取り組んでいる、または予定していること。
- 3 1及び2に準じる地域として当該市町村長が特に認める地域。

第3 応募対象者

- 1 地域住民（自治会等の地元組織）による応募（自薦）
- 2 市町村による応募（他薦）

第4 応募方法

1 地域住民による応募の場合（自薦）

- (1) 募集期間内に、市町村にお申し出ください。
- (2) 申し出を受けた市町村は、内容を精査のうえ、推薦調書（別紙1）を作成して別記様式第1号により所管する地域振興局長を経由し、秋田県農林水産部長に提出してください。

2 市町村による応募の場合（他薦）

募集期間内に、推薦調書（別紙1）を作成して別記様式第2号により、所管する地域振興局長を経由して秋田県農林水産部長に提出してください。

なお、この場合は、地域住民（自治会等地元組織）から、推薦について事前に了承を得ておいてください。

第5 対象地域の確認および認定方法

1 確認方法

第4により推薦された地域については、推薦調書（別紙1）に基づき、地域の状況や特色等について県が現地を確認します。

2 認定方法

- (1) 県の第三者委員会である「秋田県農山村ふるさと保全検討委員会」で審議し、秋田県農林水産部長が認定します。
- (2) 評価する項目については、別紙2によるものとします。

第6 認定された地域のメリット

- 1 県のホームページ等でPRし、魅力を積極的に発信します。
- 2 棚田等の保全に関する全国研修会「全国棚田サミット」に、予算の範囲内で参加することができます。
- 3 農林水産部農山村振興課で実施する、基金を活用した事業を優先的に進めていきます。
- 4 その他ソフト面、ハード面から支援します。

第7 応募期間及び今後のスケジュール

- 1 応募期間 平成28年4月20日（水）～平成28年6月30日（木）
- 2 現地確認 平成28年7月～8月（予定）
- 3 選定地域の決定 平成28年9月上旬（予定）

附 則 本要領は平成28年4月20日から施行する。

様式第 1 号（要領第 4 号の 1 関係）

平成 年 月 日

秋田県農林水産部長

市町村長 印

「守りたい秋田の里地里山 5 0」への応募について

このことについて、次の地域より応募があり、内容を精査したところ、募集要領の趣旨に
合い、対象地域の条件を満たしていることから、別紙 1 により推薦します。

1 ○○地域

様式第 2 号（要領第 4 号の 2 関係）

平成 年 月 日

秋田県農林水産部長

市町村長 印

「守りたい秋田の里地里山 5 0」への応募について

このことについて、次の地域を別紙 1 により推薦します。

1 ○○地域

(別紙1)

「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名				
地域の所在地				
棚田等の名称				
棚田等の状況	総面積	ha	棚田等の枚数	枚
	作付面積	ha	標高	～ m
	休耕面積	ha	傾斜	1/〇〇
	耕作放棄面積	ha		
地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合				
【組織名】				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》				

2 推薦の理由

--

3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

担当連絡先	所属	組織名、市町村名（部、課、係、班等）
	職名・氏名	職名： 氏名：
	電話番号	

※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付

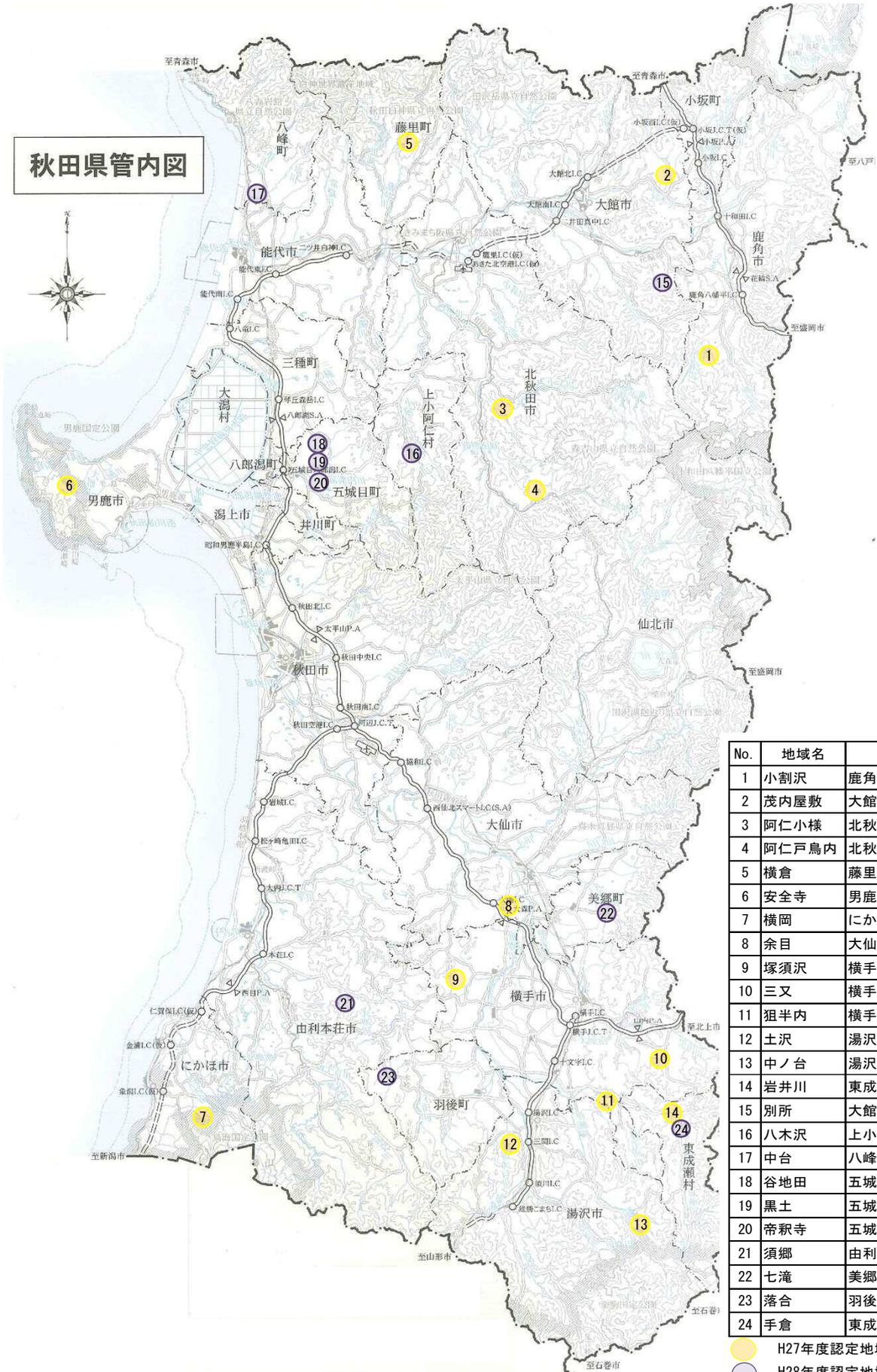
(別紙2)

選定地域の評価項目

項目	評価ポイント
景 観	地域住民の維持管理による優れた景観を有していること。 ・昔ながらの棚田の景観を保っているもの（不整形田） ・基盤整備されたが、整備後の直線的な美しさ等を有しているもの ・手入れが行き届き美しいもの ・周囲の山や家屋のたたずまいと調和し、いわゆる日本的な風景を感じさせるもの などを評価
地域住民 の活動状況	地域住民が参加する景観・環境を保全する活動や、地域資源を活かした交流活動などに取り組んでいる地域、または予定している地域であること。
P R ポイント (加点)	歴史を有する点や、伝統文化の継承に関する点など幅広く評価できること。 ・歴史を有するもの ・伝統文化の保存に関係しているもの ・特色ある地域資源を有するもの ・地域ぐるみの保全活動を展開しているもの ・地域の人々の暮らしの支えとなっているもの ・他地域にないような農地の景観を有するもの などの項目を評価

守りたい秋田の里地里山50 認定地域位置図

秋田県管内図



No.	地域名	所在地
1	小割沢	鹿角市八幡平
2	茂内屋敷	大館市雪沢
3	阿仁小様	北秋田市阿仁
4	阿仁戸鳥内	北秋田市阿仁
5	横倉	藤里町藤琴
6	安全寺	男鹿市北浦
7	横岡	にかほ市象潟町
8	余目	大仙市内小友
9	塚須沢	横手市大森町
10	三又	横手市山内
11	狙半内	横手市増田町
12	土沢	湯沢市山田
13	中ノ台	湯沢市皆瀬
14	岩井川	東成瀬村岩井川
15	別所	大館市十二所
16	八木沢	上小阿仁村沖田面
17	中台	八峰町峰浜水沢
18	谷地田	五城目町内川浅見内
19	黒土	五城目町内川黒土
20	帝釈寺	五城目町馬場目
21	須郷	由利本荘市東由利
22	七滝	美郷町六郷東根
23	落合	羽後町軽井沢
24	手倉	東成瀬村椿川

● H27年度認定地域
● H28年度認定地域

認定地域一覧

No.	地域名	所在地	現地の状況	評価のポイント
15	別所 (べっしょ)	大館市 十二所字垢離場		地域一体となって農地の管理を行い、優れた景観を維持している。また、住民のみならず地域外の利用者も多い共同浴場「別所温泉」を、50年以上も運営管理しているほか、推定樹齢約400年「三本マッカの杉」を守り続けているなど、地域活動も盛んに行われている。
16	八木沢 (やぎさわ)	北秋田郡上小阿仁村 沖田面字八木沢		協働活動による農地の保全管理により、非常に優れた景観を維持していることに加え、八木沢集落の大自然を舞台とした芸術文化活動「かみこあにプロジェクト」の開催や、地域おこし協力隊の受け入れなどを通じ集落の維持・活性化が図られている。
17	中台 (なかだい)	山本郡八峰町 峰浜水沢字中台		耕作放棄地がなく維持管理が行き届いており、白神山地を見上げる景観が素晴らしい。また、多面的機能支払制度を活用し、地元の小学生と一緒にひまわりの播種を行うなど交流が図られている。
18	谷地田 (やちた)	南秋田郡五城目町 内川浅見内字谷地田		嘉永2年に造営された堂ノ下神社を背景に里山の美しい田園風景が広がる地域。「お互いさまスーパー創設事業」を活用して「みせっこあさみない」を開設し、地域住民だけでなく多くの人々との交流が図られている。
19	黒土 (くろつち)	南秋田郡五城目町 内川黒土		川が織りなす曲線に沿って広がる田園に赤い鳥居がアクセントとなっている景色はとても素晴らしい。鳥居の後ろにあるスギとイチヨウの木は、紅葉時期の10月末から正月にかけてライトアップされ、また違った美しい風景が堪能できる。
20	帝釈寺 (たいしゃくじ)	南秋田郡五城目町 馬場目字帝釈寺		廃寺となった帝釈寺跡は、推定樹齢700年のケヤキがある農村公園として、周辺の農地とともに地域住民が一体となって保全管理しており、非常に優れた景観を維持され、“癒やし”の空間が提供されている。

認定地域一覧

No.	地区名	所在地	現地の状況	評価のポイント
21	須郷 (すごう)	由利本荘市 東由利黒湊		集落全員で農地を保全管理し、美しい景観を維持している。また、集落全員で記録選択無形民俗文化財である「しめ張り」(ワラで作った大蛇を模した“魔除け”の設置)を守り続けている。
22	七滝 (ななたき)	仙北郡美郷町 六郷東根字下七滝		地域の背後にそびえる「七滝山」と、その裾野に広がる棚田の景観が優れている。「七滝山」は水源かん養保安林に指定されており、毎年、水や森の大切さを学んでもらうために町内の小学4年生を対象として植樹事業を行なっている。
23	落合 (おちあい)	雄勝郡羽後町 軽井沢落合		山に囲まれた不整形田でありながら、水路や畦畔の草刈り等の手入れが行き届いており、築100年を超える茅葺屋根の民家が現存するなど、農村の原風景にふさわしい景観が維持されている。
24	手倉 (てぐら)	雄勝郡東成瀬村 大字椿川手倉		不整形田と整形田が混在し、特に対岸からの景色が優れている。かつて太平洋側と日本海側を最短で結ぶ「仙北道」監視のため、江戸時代に手倉御番所が設けられた地域で、現在も住民によりその石碑が守り継がれているなど、歴史的にも意義の深い地域である。

項目	評価ポイント	写真
景観	地域一体となって農地の管理を行っており、優れた景観を維持している	
地域住民の活動状況	(1) 高齢化が進み維持管理が難しくなっている中、中山間地域等直接支払制度を活用し、集落の半数以上が参加して農地の維持保全を行っている	
	(2) 平成12年から中山間地域等直接支払制度による活動を続けている	
PRポイント	住民のみならず、地域外の利用者も多い共同浴場「別所温泉」があり、地域で50年以上運営管理している	
	地域の入口に、江戸時代に建立された「三哲神社」があり地域の平和を祈願して毎年7月に祭典が開催されている	
	大日神社には市のふるさと探訪並木園名木保存事業で指定された推定樹齢約四百年の名木「三本マツカの杉」があり、地域で守り続けている	
計		

(別紙1)

「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名	大館市			
地域の所在地	大館市十二所字垢離場			
棚田等の名称	別所			
棚田等の状況	総面積	9.2ha	棚田等の枚数	109枚
	作付面積	6.0ha	標高	120~145m
	休耕面積	3.2ha	傾斜	1/15.7~1/17.7
	耕作放棄面積	0ha		

地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合

【組織名】 別所集落協定

《地域の棚田等を紹介する写真を添付》



2 推薦の理由

中山間地で積雪が多いため雪解けが遅く耕作期間が短い、地域が一体となって維持管理活動が行われている。

3 地域の営農・保全の状況

稲作中心であり、稲作のほかは保全管理がほとんどである。

4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

中山間地域等直接支払交付金を活用し、地域で保全活動に取り組んでいる。

5 地域の特徴

地域で運営管理している温泉があり、地域住民だけでなく、鹿角への通り抜けや山菜取りにくる地区外の利用者も多い。

また、地域の入り口にある三哲山には、江戸時代に建立された三哲神社があり、地域の平和を祈願して毎年7月に祭典が開催されている。

6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

担当連絡先	所属	大館市産業部農林課 農林整備係
	職名・氏名	職名：主査 氏名：杉沢英紀
	電話番号	0186-43-7075

※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付

位置図

1/25,000

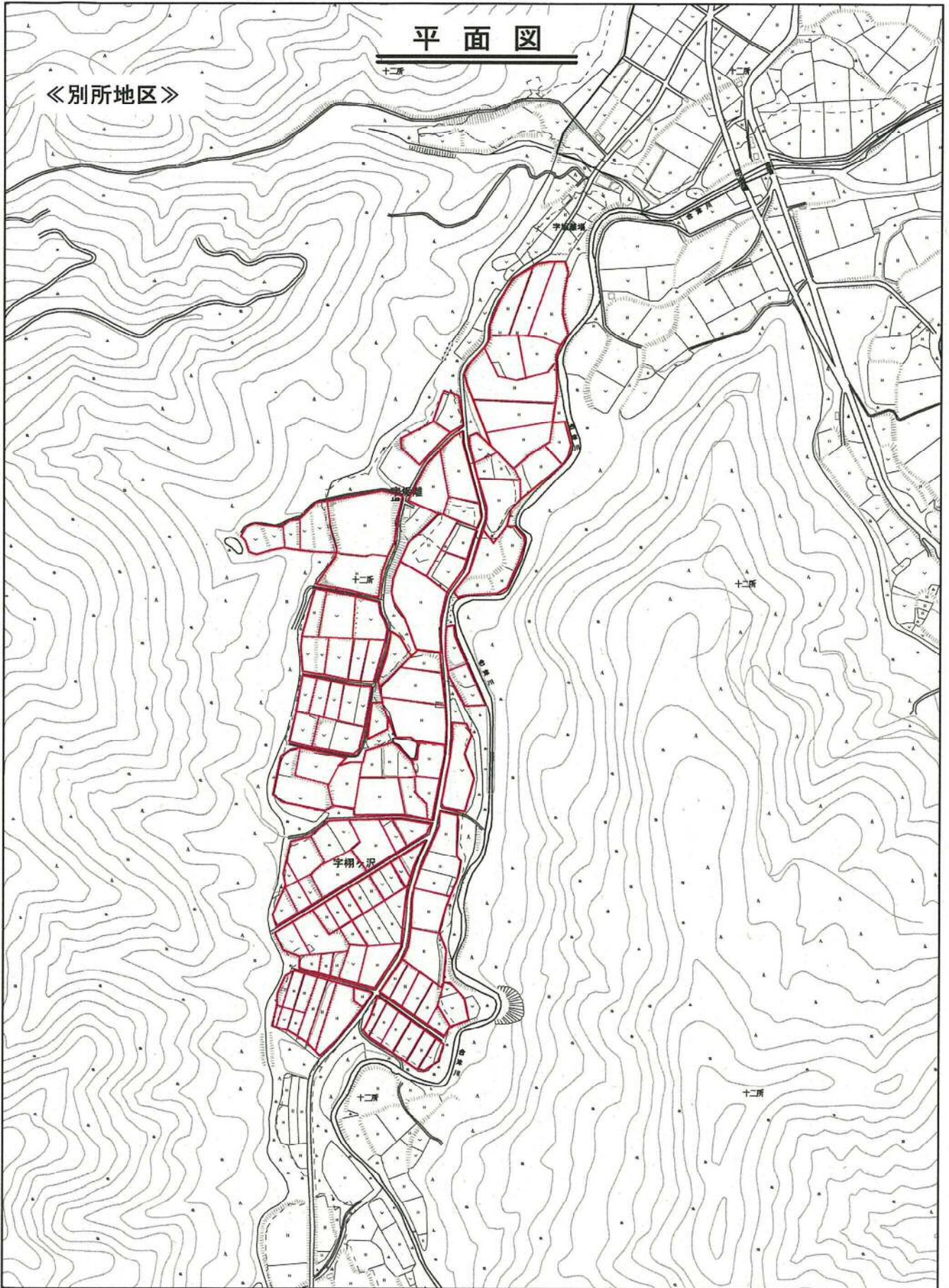
別所



大館市

平面図

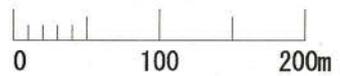
《別所地区》



一字



1:5000



項 目	評価ポイント	写真
景 観	地域一体となって農地の管理を行っており、非常に優れた景観を維持している	
地域住民の活動状況	(1) 高齢化が進み維持管理が難しくなっている中、中山間地域等直接支払制度を活用し、集落の半数以上が参加して農地の維持保全を行っている	
	(2) 平成23年度から中山間地域等直接支払制度による活動を続けている	
P R ポイント	八木沢集落の大自然を舞台とした芸術文化活動「かみこあにプロジェクト」を開催し、集落の活性化や風景の維持を目指している	
	後継者難により途絶えていた村無形民俗文化財「八木沢番楽」を番楽保存会、地域おこし協力隊の協力により約20年ぶりに復活させている	
	2009年に秋田県初の地域おこし協力隊を受け入れ、現在まで受け入れを継続し、農作業の手伝い等を通し集落内外の人々と交流している	
	山神社があり毎年5月に祭典を行い、神事後には人が集まり地場産料理等で交流を深めている	
計		

(別紙1)

「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名	上小阿仁村			
地域の所在地	上小阿仁村沖田面字八木沢			
棚田等の名称	八木沢			
棚田等の状況	総面積	1.53ha	棚田等の枚数	15枚
	作付面積	0.77ha	標高	163.3~173.5m
	休耕面積	0.76ha	傾斜	1/20~1/83
	耕作放棄面積	0ha		
地域内に日本型直接支払制度(多面的機能支払・中山間地域等直接支払)を活用している組織がある場合 【組織名】八木沢集落協定(中山間地域等直接支払)				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》				
		 kamikoaniプロジェクト秋田2012		

2 推薦の理由

八木沢集落は、小阿仁川の最上流部の山あいにある世帯数8戸の集落である。山々に囲まれた中に広がる風景は懐かしさを感じ、落ち着いた雰囲気である。

高齢化により維持管理が難しくなっていく中、イベントや地域おこし協力隊の受け入れ等を通して、集落の活性化や風景の維持を目指している八木沢集落を推薦する。

3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

入作農家が田を耕作しており、休耕地については集落や地域おこし協力隊の手伝い、又は入作農家の協力により維持管理をしている。

4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

2009年から地域おこし協力隊を受け入れ、農作業の手伝い等を通して集落内外の人々と交流している。

また、2012年から2015年までkamikoaniプロジェクト秋田という芸術文化活動を開催し、八木沢集落の大自然を舞台とした現代アートとの融合等の取組みが話題を呼び、多くの人が訪れた。今年度は、かみこあにプロジェクト2016の名称で取組みを行う。

5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

小阿仁川最上流部の豊かな自然と、里山の風景が美しい。今年度は、かみこあにプロジェクト2016というイベントを行う。期間中は音楽や伝統芸能、美術作品の展示等が行われる予定である。

6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

担当連絡先	所属	上小阿仁村役場 産業課 農務班
	職名・氏名	職名：主事 氏名：伊藤 勝哉
	電話番号	0186-77-2223

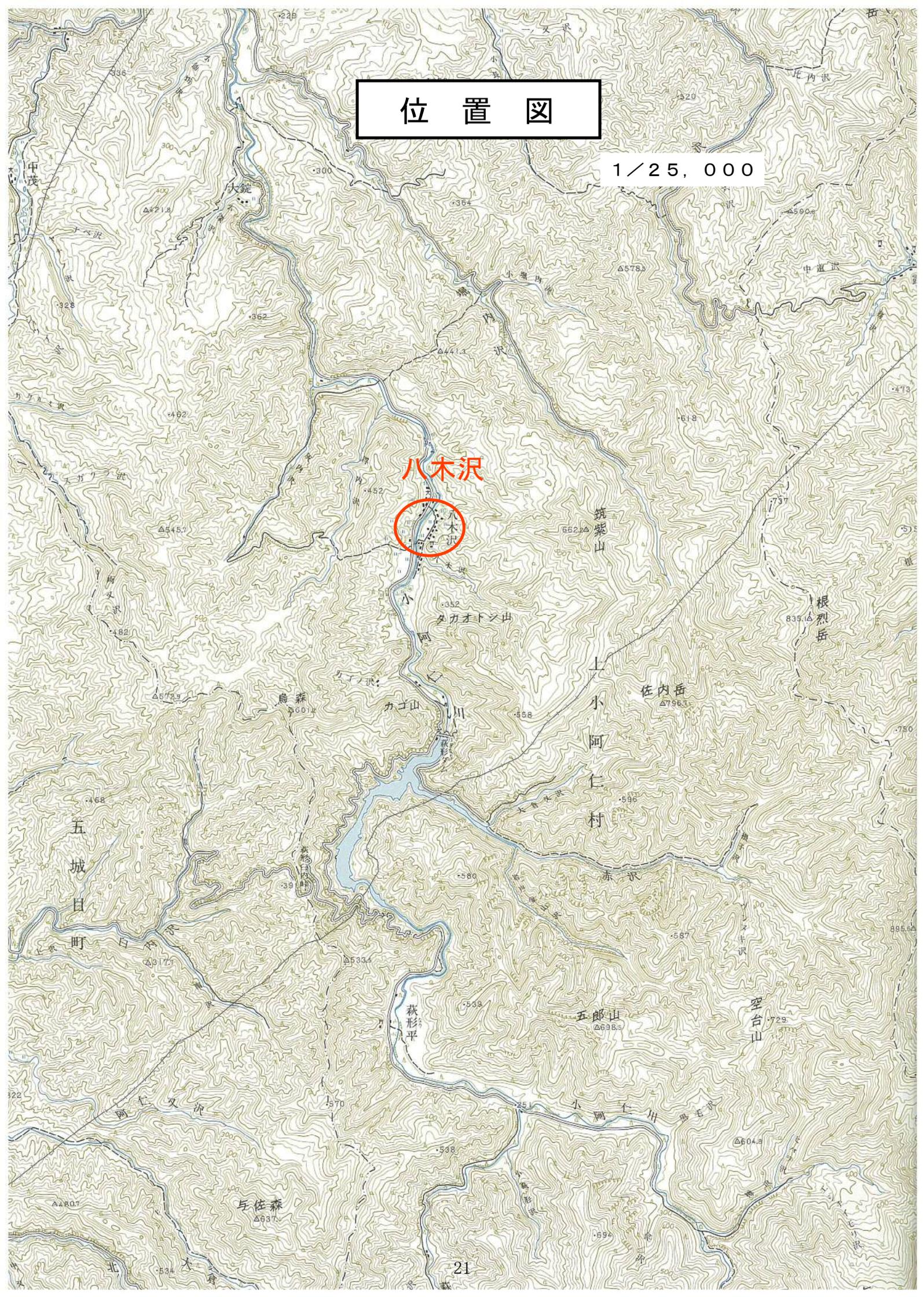
※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付

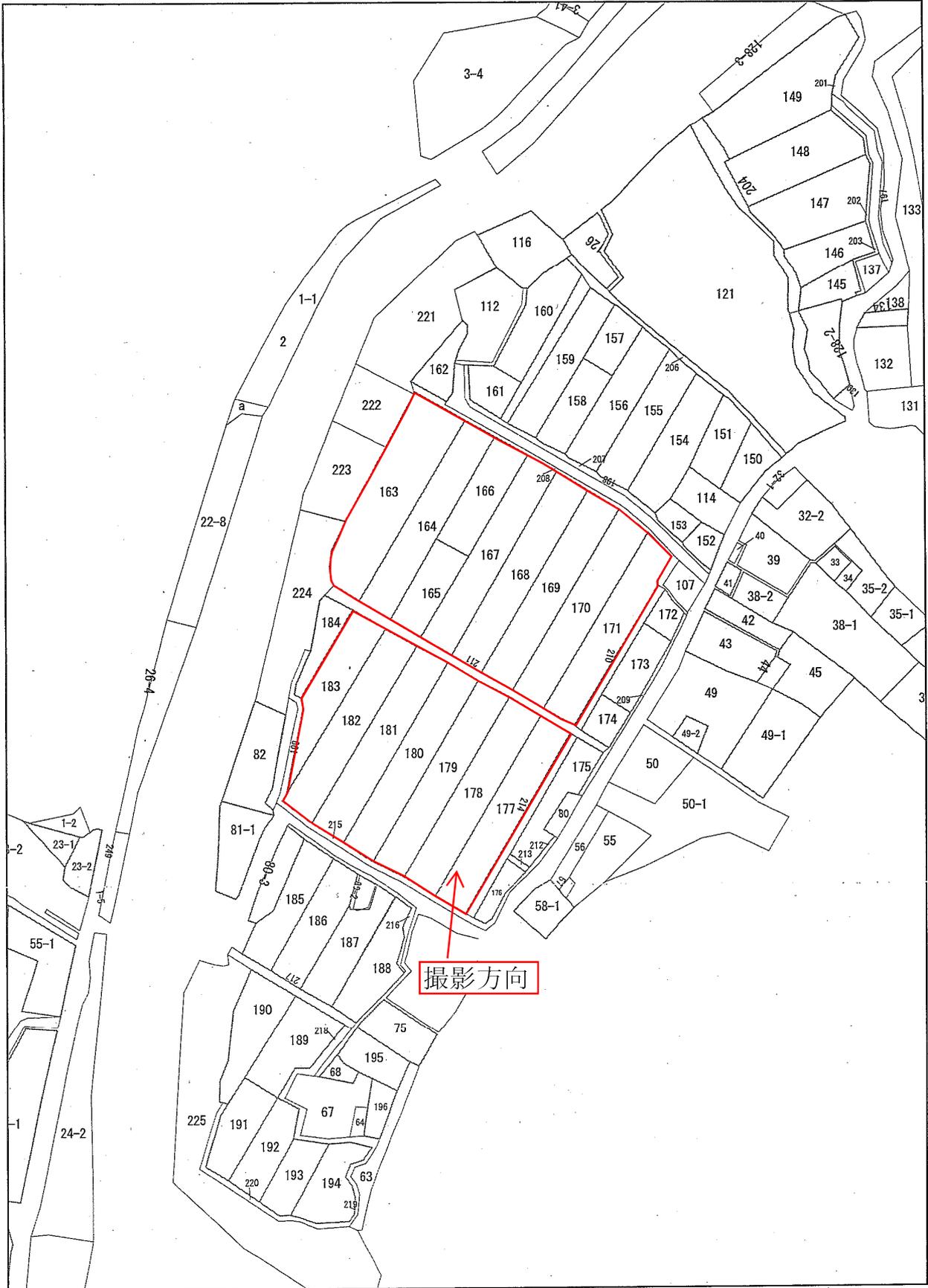
位置図

1/25,000

八木沢



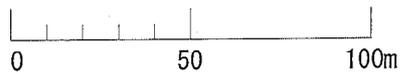
沖田面字八木沢



撮影方向



1:2000



項目	評価ポイント	写真
景観	耕作放棄地が無く、維持管理が行き届いており、非常に優れた景観を維持している	
地域住民の活動状況	(1) 多面的機能支払制度を活用し、地元の小学生と一緒にひまわりの播種を行って、小学生が寿大学（八峰町で実施する高齢者を対象とした生涯学習活動）との交流会時にひまわりの種をプレゼントするなど交流を行っている	
	(2) 平成19年度から多面的機能支払制度に取り組んでいる	
P R ポイント	毎年5月3日は沢目神社祭典が行われ、地域の子どもたちが御輿を担いで奉納している	
	6月には鹿島流し（豊作祈願祭典）が行われている	
	年1回、地域の運動会を開催し、交流を図っている	
計		

(別紙1)

「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名	八峰町			
地域の所在地	山本郡八峰町峰浜水沢字中台			
棚田等の名称	中台地区			
棚田等の状況	総面積	7, 1 ha	棚田等の枚数	23枚
	作付面積	7, 1 ha	標高	30～40m
	休耕面積	0 ha	傾斜	1/20
	耕作放棄面積	0 ha		

地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合

【組織名】水沢保全会（多面的機能支払）

《地域の棚田等を紹介する写真を添付》

①



②



2 推薦の理由

地形勾配が概ね1 / 20以上の水田を含み、転作や耕作放棄地などがなく維持管理が行き届いており、白神山地と日本海を見下ろせる景観も良い。

3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

土地改良事業を行っていることも有り、担い手などの確保により保全管理が行き届いている。

4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

多面的の環境保全で国道脇に水田を活用したひまわりの植栽があり、ドライブ客などが立ち寄り写真撮影などを行っている。花後の種を活用し小学生が寿大学（八峰町で実施する高齢者を対象とした生涯学習活動）との交流会時に種をプレゼントし交流を行っている。

5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

毎年5月3日は沢目神社祭典が行われ、地域の子どもたちが御輿を担いで奉納している。

6月には鹿島流し（豊作祈願祭典）が行われている。

現在も水沢地区の運動会を年1回開催し、地域交流をおこなっている。

6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

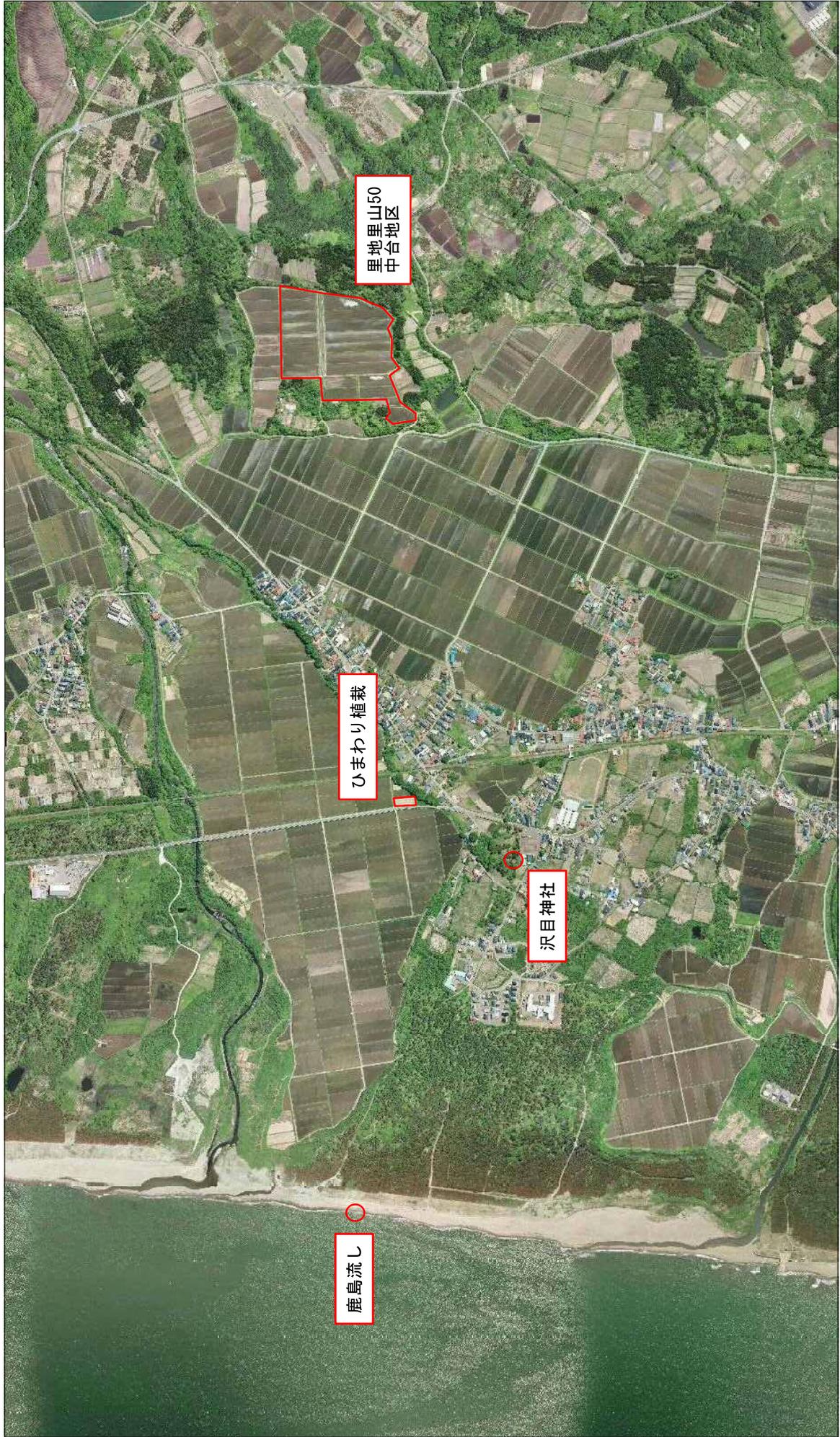
近くには水沢川があり鮎や溪流釣りなどのファンも多い。また、カッチキ台国道101号一体では梨畑が密集しており峰浜梨街道としてPRしている。

担当連絡先	所 属	八峰町農林振興課整備係
	職名・氏名	職名：係長 氏名：柴田 仁志
	電話番号	0 1 8 5 - 7 6 - 4 6 0 9

※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付

守りたい秋田の里地里山50 中台地区 位置図



1/15000

1/1

守りたい秋田の里地里山50 中台地域 平面図



項 目	評価ポイント	写真
景 観	嘉永2年に造営された堂ノ下神社を背景に里山の美しい田園風景が見られ、非常に優れている	
地域住民の活動状況	(1) 多面的機能支払制度を活用し、地域の美化活動や保全に地域住民一体となって取り組んでいる	
	(2) 平成27年度から多面的機能支払制度に取り組んでいる	
P R ポイント	嘉永2年に造営された歴史の深い神社があり、当時作られたと思われる扁額は現在でも町内会により大事に保存されている	
	地域の子供に言葉を残すために独自のかるたを作成し、毎年1月に「かるた会」を開催している	
	「お互いさまスーパー創設事業」を活用して「みせっこあさみない」を開設し、地域住民だけでなく多くの人々との交流の場になっている	
計		

「守りたい秋田の里地里山 50」 推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名	五城目町			
地域の所在地	五城目町内川浅見内字谷地田			
棚田等の名称	谷地田地区			
棚田等の状況	総面積	7 ha	棚田等の枚数	23 枚
	作付面積	7 ha	標高	30 ~ 35 m
	休耕面積	ha	傾斜	1/20~1/50
	耕作放棄面積	ha		
地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合 【組織名】 浅見内あざみの会				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》 別紙資料参照				

2 推薦の理由

五城目町中心部より北東部に位置する谷地田は、嘉永2年に造営された堂ノ下神社を背景に里山の美しい田園風景が見られる地区であり、地域住民に癒しを与え心の支えとなっています。

3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

現在の営農は、大半が水稲となっている。

農道や水路の保管理は、多面的機能支払交付金等を有効活用し、地域の美化活動や農地の保全に地域住民が一体となって活動に取り組んでいる。

4 地域が取り組んでいる環境・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

谷地田地区では、地域全体で「元気な地域づくり支援事業」や「多面的機能支払制度」を活用し農地等の保全活動を行っている。また、「お互いさまスーパー創設事業」を活用し、「みせっこあさみない」を開設し、地域住民だけでなく多くの人々との交流の場にもなっている。さらに地域の子供に言葉を残すために独自でかるたを作成し年1回「かるた会」を開催している。

5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

伝統文化：谷地田地区では嘉永2年に造営された歴史の深い神社があり、中でも当時作られたと思われる扁額は現在でも大事に保存されている。

地域ぐるみの保全活動：谷地田地区では平成26年度から「元気な地域づくり支援事業」と「多面的機能支払制度」を活用し、保全に努めている。

6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

担当連絡先	市町村・担当課・係	五城目町 農林振興課 農林振興係
	職名・氏名	職名：係長 氏名：齊藤 茂
	電話番号	018-852-5215

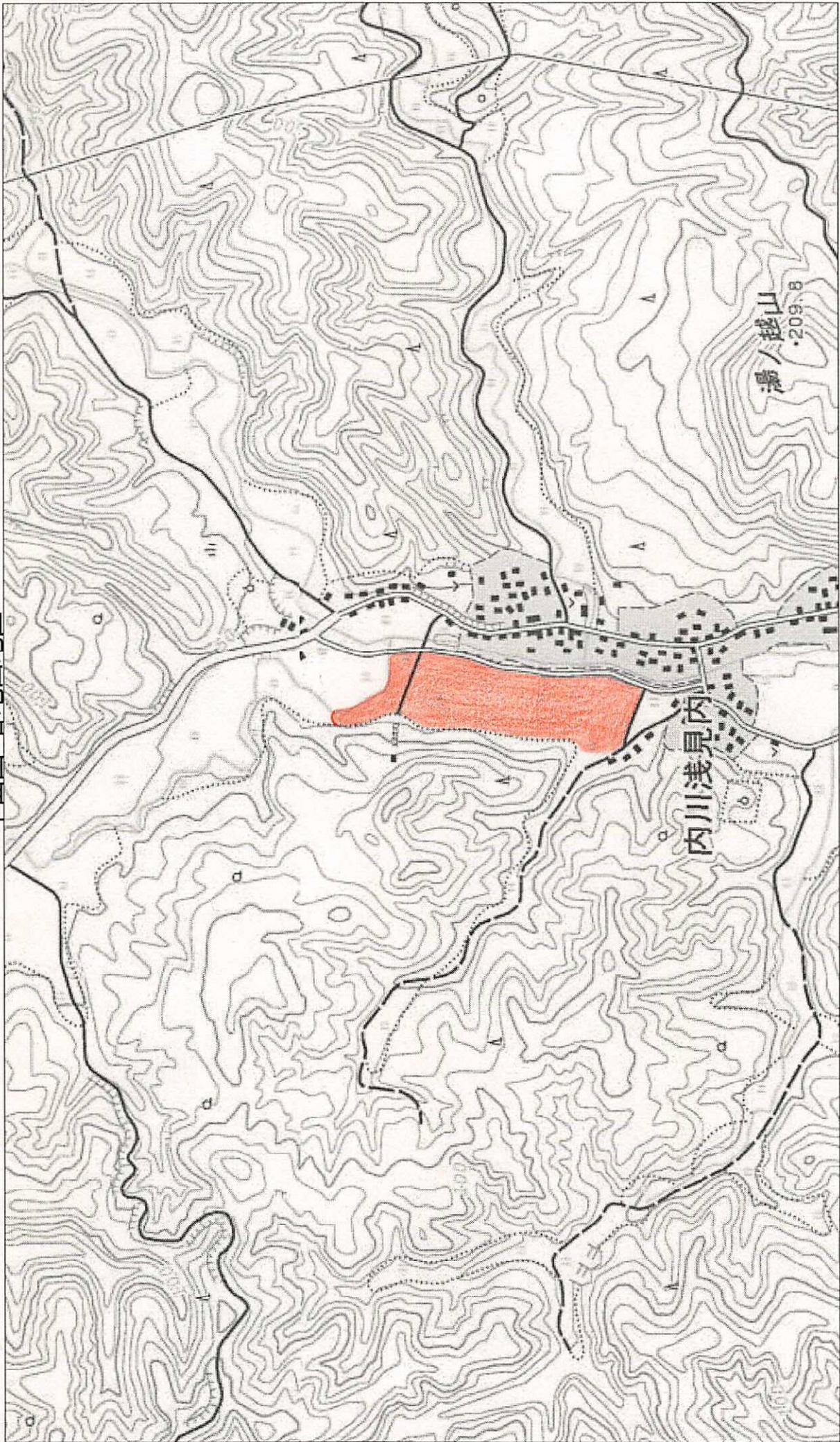
※その他添付資料

- ・位置図（1/10,000）
- ・平面図（1/10,000）の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付

位置図【谷地田地区】

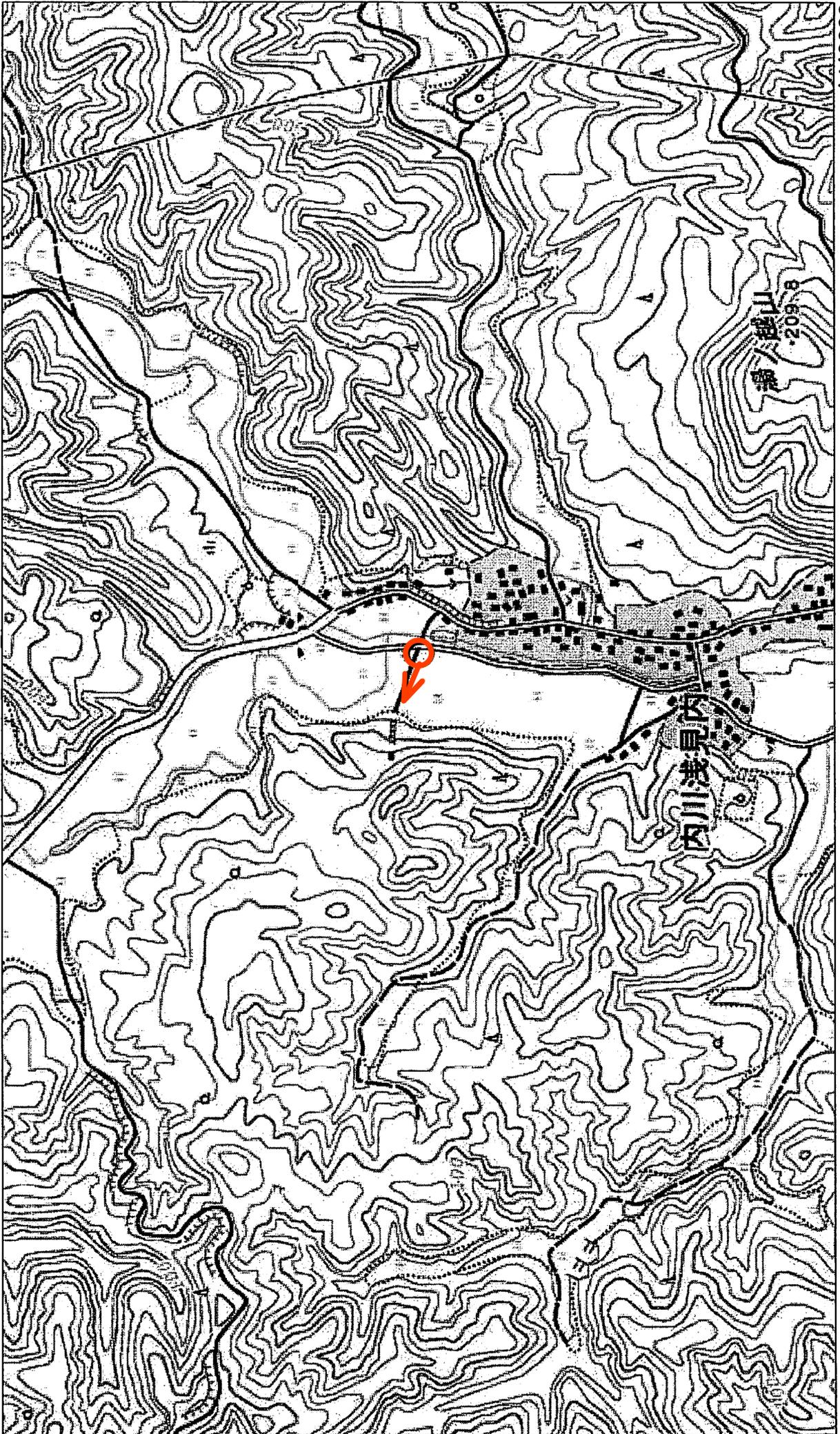


平面图 谷地田地区



1/10000

写真位置図



項目	評価ポイント	写真
景観	内川川が織りなす曲線に沿って広がる田園風景は非常に優れている	
地域住民の活動状況	(1) 多面的機能支払制度を活用し、地域の美化活動や保全に地域住民一体となって取り組んでいる	
	(2) 平成24年度から多面的機能支払制度に取り組んでいる	
P R ポイント	神社にあるスギとイチョウの木は紅葉時期の10月末から正月にかけて町内会により電飾等でライトアップされ、また違った美しい風景が堪能できる	
	町などの行政ばかりに頼らず自分たちで地域を守ろうと、黒土町内会地域支援隊[め組]を立上げ、年1回訓練を行い、地域の防災に努めている	
計		

「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名	五城目町			
地域の所在地	五城目町内川黒土			
棚田等の名称	黒土地区			
棚田等の状況	総面積	1.9ha	棚田等の枚数	61枚
	作付面積	1.9ha	標高	15～20m
	休耕面積	ha	傾斜	1/20～1/40
	耕作放棄面積	ha		
地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合				
【組織名】				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》				
別紙資料参照				

2 推薦の理由

五城目町中心部より北東部に位置する黒土は、内川川が織りなす曲線に沿って田園が広がり、さらに黒土稲荷神社にあるスギとイチョウの木から見渡す田園風景は地元住民の心の支えおよび癒しを与えている。

3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

現在の営農は、大半が水稲となっている。

農道や水路の保管理は、多面的機能支払交付金等を有効活用し、地域の美化活動や農地の保全に地域住民が一体となって活動に取り組んでいる。

4 地域が取り組んでいる環境・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

黒土地区では、地域全体で農地等の保全活動を行っているが、高齢化により保全活動に苦慮している状態である。しかしながら「多面的機能支払制度」を活用し地域住民全体で協力しながら保全に努めている。

5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

地域ぐるみの保全活動：神社にあるスギとイチョウの木は紅葉時期になると電飾等でライトアップされ、また違った美しい風景が堪能できる。

6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

担当連絡先	市町村・担当課・係	五城目町 農林振興課 農林振興係
	職名・氏名	職名：係長 氏名：齊藤 茂
	電話番号	018-852-5215

※その他添付資料

- ・位置図（1/10,000）
- ・平面図（1/10,000）の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付

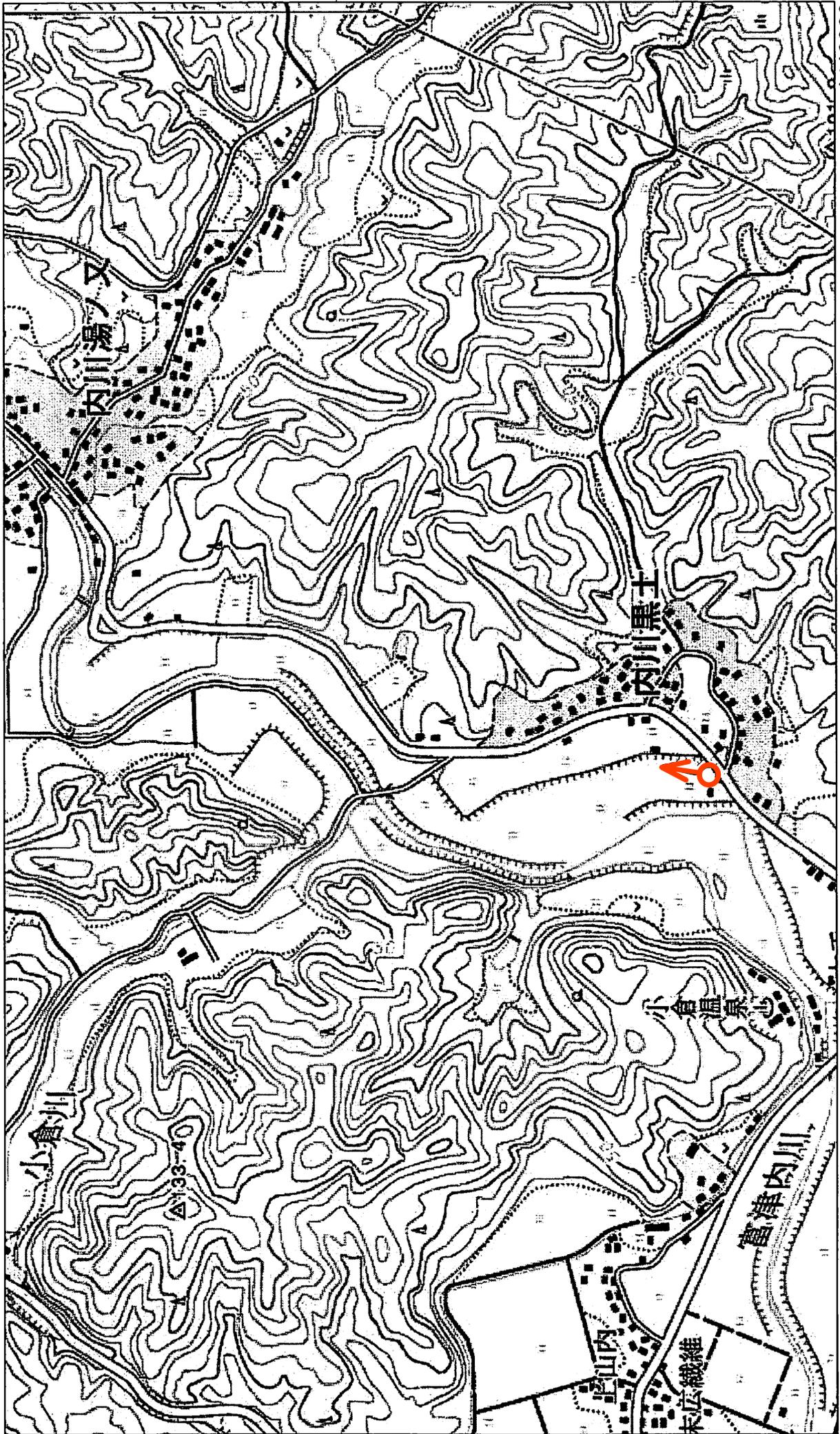
位置図【黒土地区】



平面图 黒土地区



写真位置図



1/10000

項目	評価ポイント	写真
景観	地域一体となって農地の管理を行っており、非常に優れた景観を維持している	
地域住民の活動状況	(1) 多面的機能支払制度を活用し、地域の美化活動や保全に地域住民一体となって取り組んでいる	
	(2) 平成19年度から多面的機能支払制度に取り組んでいる	
P R ポイント	地域住民に癒やしを与えている推定樹齢700年のケヤキ、推定樹齢300年のスギがあり、地域住民一体となって保全に努めている	
	周辺一体は廃寺となった帝釈寺跡であり、農村公園として地域住民が保全管理をしている	
	毎年4月には町内独自で地域のゴミ拾い等清掃活動を行い、清掃後に交流会も開催している	
計		

「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名	五城目町			
地域の所在地	五城目町馬場目字帝釈寺			
棚田等の名称	帝釈寺地区			
棚田等の状況	総面積	4.4 ha	棚田等の枚数	200 枚
	作付面積	4.4 ha	標高	15～25 m
	休耕面積	ha	傾斜	1/40～1/50
	耕作放棄面積	ha		
地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合 【組織名】 帝釈寺けやき会				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》 別紙資料参照				

2 推薦の理由

五城目町中心部より東に位置する帝釈寺は、推定樹齢700年・樹高20m余りのケヤキが立ち、本地区の棚田から眺めるケヤキの風景は地域住民に癒しを与えてくれます。

3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

現在の営農は、大半が水稲となっている。

農道や水路の保管理は、多面的機能支払交付金等を有効活用し、地域の美化活動や農地の保全に地域住民が一体となって活動に取り組んでいる。

4 地域が取り組んでいる環境・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

帝釈寺地区では、地域全体で農地等の保全活動を行っているが、高齢化により保全活動に苦慮している状態である。しかしながら「多面的機能支払制度」を活用し地域住民全体で協力しながら保全に努めている。

5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

歴史を有するもの：推定樹齢700年のケヤキと推定樹齢300年のスギがある。周辺一体は廃寺となった帝釈寺跡でもある。

6 その他

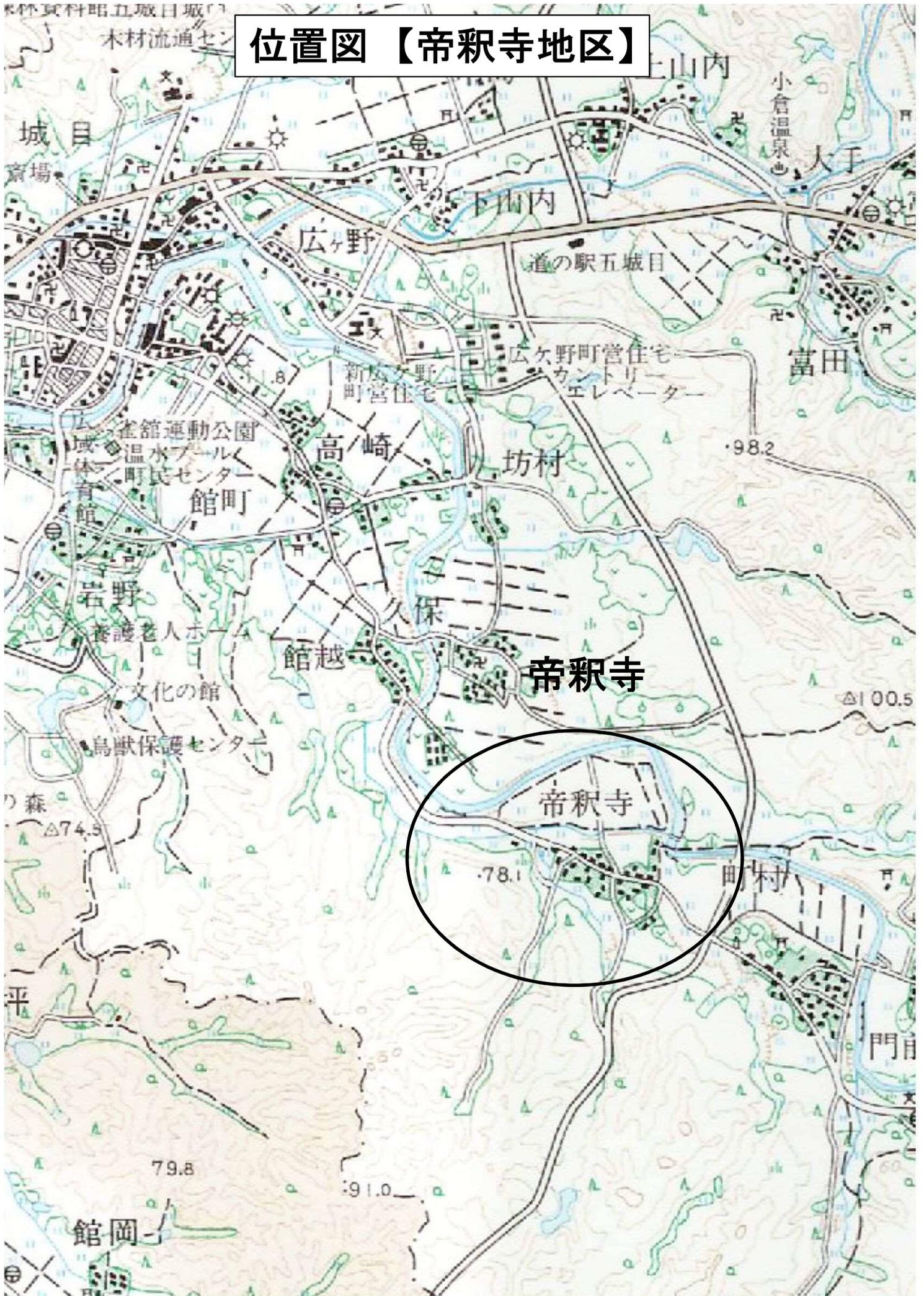
《その他特徴的な事項があれば記載》

担当連絡先	市町村・担当課・係	五城目町 農林振興課 農林振興係
	職名・氏名	職名：係長 氏名：齊藤 茂
	電話番号	018-852-5215（直通）

※その他添付資料

- ・位置図（1/10,000）
- ・平面図（1/10,000）の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付

位置図【帝釈寺地区】

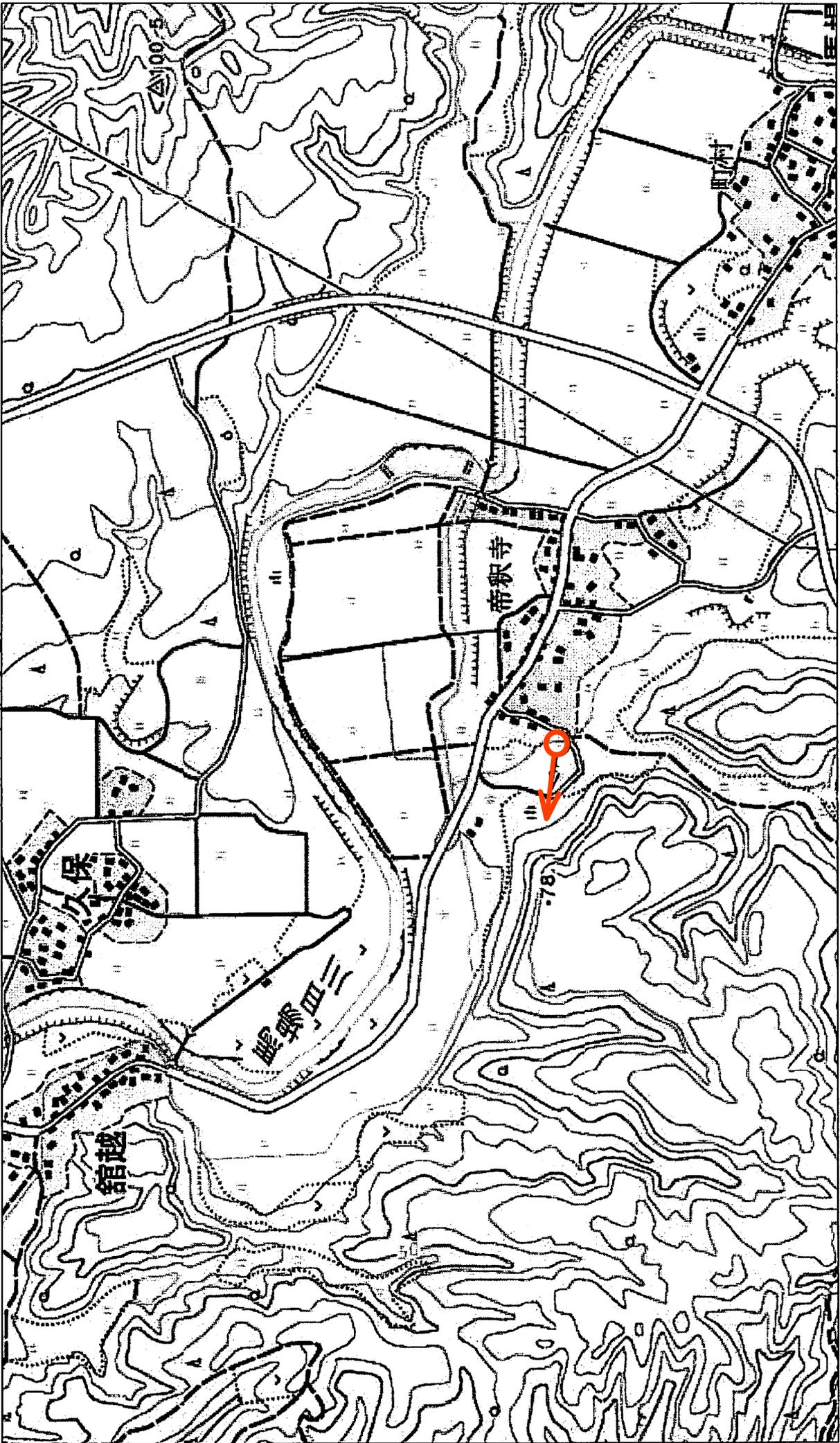


平面图 帝釈寺地区



1/10000

写真位置図



1/10000

項目	評価ポイント	写真
景観	地域一体となって農地の管理を行っており、非常に優れた景観を維持している	
地域住民の活動状況	(1) 中山間地域等直接支払制度を活用し、集落の全世帯が参加して農地の維持保全を行っている	
	(2) 平成11年度から中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる	
P R ポイント	ワラ打ちから設置まで集落全員が参加し、地区の境（北側、南側）に「しめ張り」（ワラで作った大蛇を模したもの）を設置する、記録選択無形民俗文化財を守り続けている	
	畜産により生じた堆肥の約8割を農業に利用する資源循環型農業を実践している	
計		

(別紙1)

「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名	由利本荘市			
地域の所在地	由利本荘市東由利黒渕			
棚田等の名称	須郷			
棚田等の状況	総面積	18.7ha	棚田等の枚数	179枚
	作付面積	17.1ha	標高	191～243 m
	休耕面積	1.5ha	傾斜	1 / 19
	耕作放棄面積	0ha		
地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・ <u>中山間地域等直接支払</u> ）を活用している組織がある場合				
【組織名】 須郷集落協定				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》				

2 推薦の理由

豪雪地帯の小さな集落であるが、集落全体で農地環境の保全に取り組んでおり、昔ながらの伝統行事「しめ張り」などの継続により住民の絆も深く、農地の保全にも熱心に取り組んでいる。

3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

水稲・畜産（和牛繁殖）主体の地域である。中山間地域等直接支払交付金を活用し、水稲、飼料作物の作付けにより、休耕田が少なく、圃場・農道・水路が良好な状態である。

4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

- ・ 7世帯の集落であるが、農地保全・景観保全の意識が高く、農地・農道・水路はもとより、河川・高台にある草地の法面など農地以外の環境保全についても、草刈り・水路掃除など地域住民の共同作業として取り組んでいる。

5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

「しめ張り」といわれる、わらで大蛇（10m、8m 2体）を作り、集落の境の木に巻きつけて魔よけとする風習が残っている。8月下旬の猛暑の中、集落全員で取り組む作業は1日ばかりである。

6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

担当連絡先	所属	組織名、由利本荘市役所東由利総合支所産業課
	職名・氏名	職名：課長補佐 氏名：小松 貢治
	電話番号	0184-69-2116

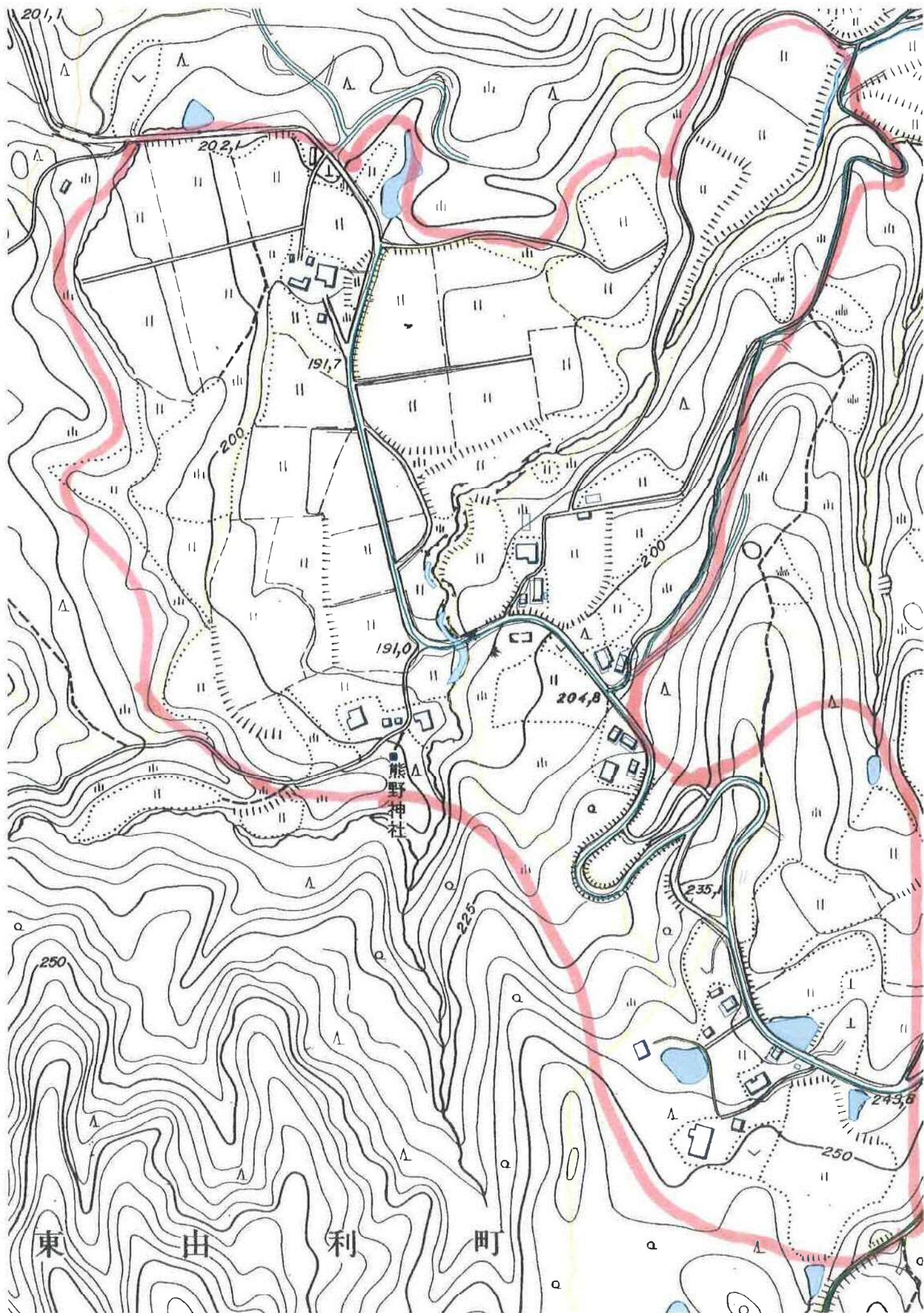
※その他添付資料

- ・ 位置図（1/25,000）
- ・ 平面図（1/2,000）程度の図面
- ・ 写真位置図（撮影方向を記載）
- ・ その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付









項 目	評価ポイント	写真
景 観	畦畔等の手入れが行き届いている 他、背後にそびえる「七滝山」と、 その裾野に広がる棚田との景観が優 れている	
地域住民 の 活動状況	(1) 活動の参加人数 中山間地域等直接支払制度を活用し、集落の全世帯が参加して農地の維持保全を行っている	
	(2) 活動の継続年数 平成14年度から中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる	
P R ポイント	水源かん養保安林に指定されている「七滝山」では、毎年、水や森の大切さを学んでもらうため、町内小学4年生を対象に植樹事業を行っており、今後も中山間組織や棚田との関連を深めていく	
	美郷町の友好都市である東京都大田区等の方を対象とした町のふるさとオーナー制度へ協力している農家もあり、地元産品を通じた交流活動が行われている	
計		

(別紙1)

「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名	美郷町			
地域の所在地	美郷町六郷東根字下七滝、中七滝、上七滝、下片倉、中片倉、上片倉、上薊沢、下薊沢、薊沢、原市			
棚田等の名称	七滝地域			
棚田等の状況	総面積	25.6 ha	棚田等の枚数	255 枚
	作付面積	16.5 ha	標高	150～224 m
	休耕面積	9.1 ha	傾斜	1/17
	耕作放棄面積	0 ha		

地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合

【組織名】 あらしな営農協議会（中山間地域等直接支払制度）

《地域の棚田等を紹介する写真を添付》



2 推薦の理由

本地域は、江戸時代から水源の森として守られてきた「七滝山」の麓に位置し、仙北2市1町約1,500haをかんがいでいる丸子川の支川「七滝川」が流れ、その水を利用し営農が行われてきた棚田地域である。

平成14年には地域住民により「あらしな営農協議会」が組織され、中山間地域等直接支払制度を活用し、棚田とその周辺の環境保全・景観維持、水路等の長寿命化活動が積極的に行われている。

以上の理由から、本地域を守りたい秋田の里地里山50に推薦する。

3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況》

- ・営農は、大半が稲作となっている。
- ・年2回の一斉草刈りや水路等の補修・補強を実施し、環境保全・景観維持が図られている。

4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

- ・中山間地域等直接支払制度を活用し、地域住民が一体となり、棚田や水路、農道等の維持保全活動が実施されている。
- ・友好都市東京都大田区等の方を対象とした町のふるさとオーナー制度「味郷くらぶ」へ協力している農家もあり、地元産品を通じた交流活動が行われている。

5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

- ・仙北2市1町約1,500haが受益とする七滝用水のほか、名水百選で知られる「六郷湧水群」、これらの水源である「七滝山」とその裾野に広がる棚田の眺望は、自然の恩恵とそこで暮らす人達の歴史や努力を感じることができる。

棚田上流の七滝山の水源かん養保安林内で、毎年、水や森の大切さを学んでもらうため、町内小学4年生を対象に植樹事業を行っている。

今後、町ではこの植樹事業のほか、山の更なる利活用と保全を推進していく構想があり、地元中山間組織や本棚田地域の重要性が益々大きくなっていくものと考えられる。



6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

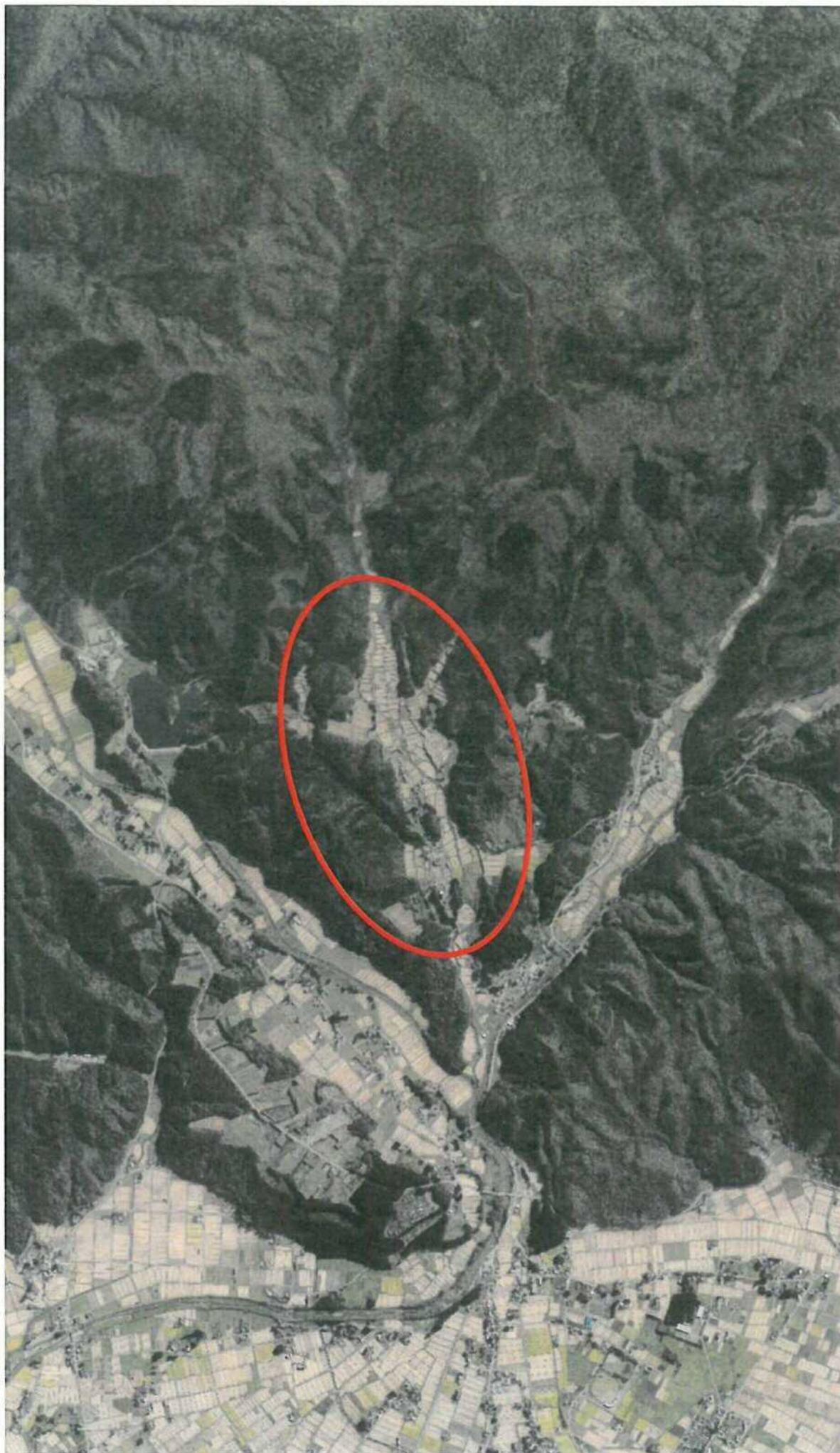
- ・地域を流れる水路にはホタルが生息しており、自然豊かな環境である。

担当連絡先	所属	美郷町農政課農林整備班
	職名・氏名	主任 坂本 輝
	電話番号	0187-84-4908

※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付

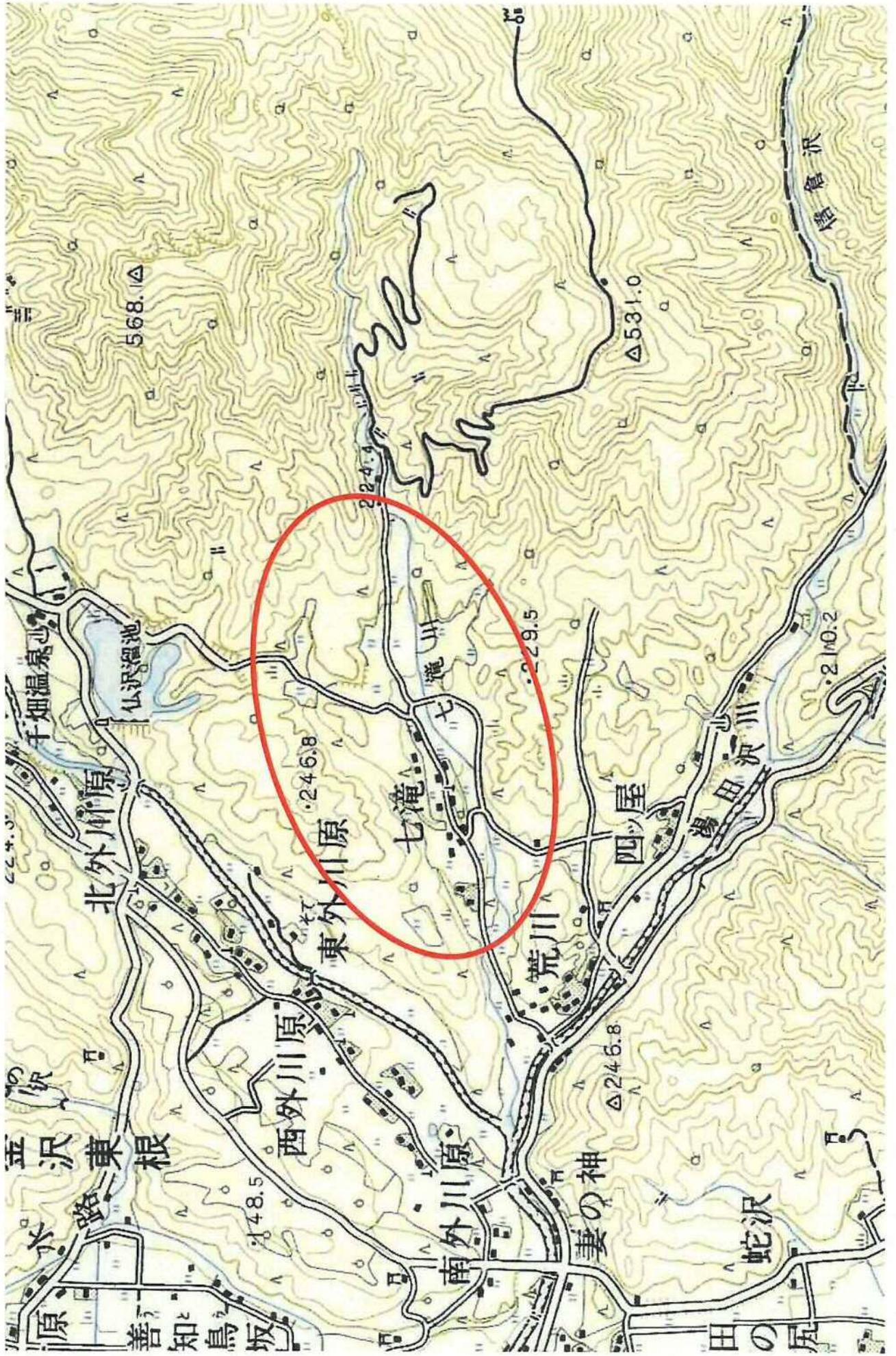
【位置図】



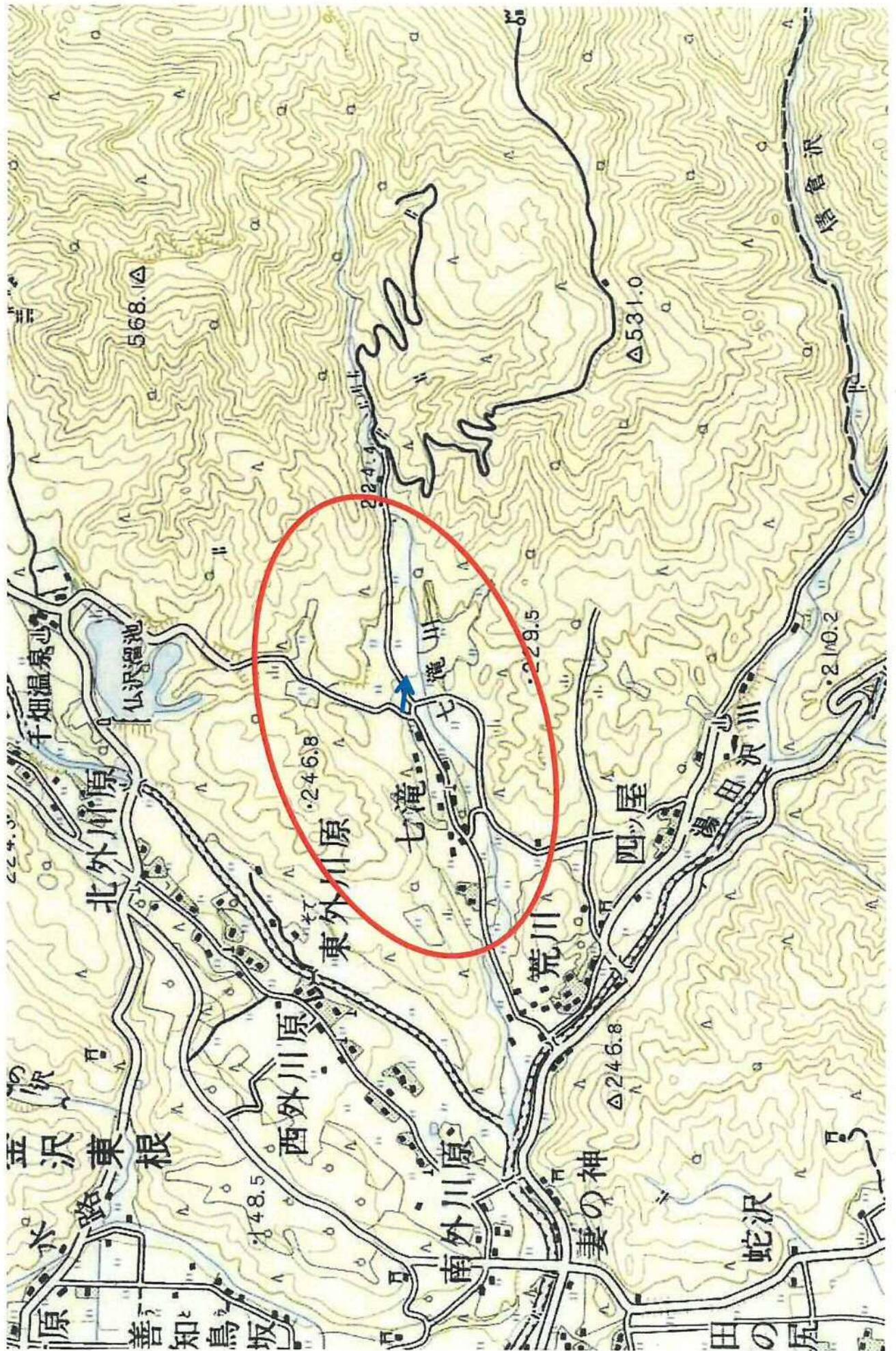
1/1

1/25000

【平面図】



【写真位置図】



項目	評価ポイント	写真
景観	山に囲まれた不整形田でありながら、水路や畦畔の草刈り等の手入れが行き届いており、茅葺屋根の民家が現存するなど非常に優れた景観である	
地域住民の活動状況	(1) 中山間地域等直接支払制度を活用し、集落の全世帯が参加して農地の維持保全や環境保全活動を行っている	
	(2) 平成26年度から中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる	
PRポイント	築100年を超える茅葺の民家が現存する農村の原風景を守り続けている	
	地域の外れにある「山神社」において、4月には「田の神様」12月には「山の神様」の祭典を催し、安全祈願と住民交流を図っている	
	地域内を流れる川に生息する「モクズガニ」を通じて隣の旧東由利町と交流を図ってきている	
計		

「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名	羽後町			
地域の所在地	軽井沢字落合地区			
棚田の名称	落合、七十刈、石原坂、釜石田、新又			
棚田等の名称	総面積	11ha	棚田等の枚数	78枚
	作付面積	9ha	標高	200~300m
	休耕面積	2ha	傾斜	1/19~1/26
	耕作放棄面積	ha		
地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合 【組織名】落合資源保全会				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》				
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				

2 推薦理由

水田と水田を囲む山地の中に築100年を超える茅葺屋根の民家があり、本地域は農村の原風景にふさわしい地域である。
 一部休耕地があるものの営農に一体的な広がりがあり、地域住民が景観や環境を保全する活動を行うなど維持管理が行き届いている。

3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況》

現在の営農は大半が水稲であるが、ソバ栽培が6戸で葉タバコ栽培農家は2戸であり、うち葉タバコは1町歩栽培している。
 地域ぐるみで農道・水路の補修、畦畔、農用地の草刈り等の活動を実施し、施設の維持管理と環境保全に努めている。

4 地域が取り組んでいる環境・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

地域内の県道・町道の清掃、草刈りを5月の連休に行い、地域を流れる軽井沢川のクリーンアップを6月の第2日曜日に地域全体で実施して地域の環境保全に努めている。また、水路の泥上げや草刈りを春から晩秋にかけて実施して地域全体の環境保全に努めている。

5 地域の特徴

《地位の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

地域の外れの小高い山に地域の安全を願うように山神神社が祀られている。建立時期は定かでないが、軽井沢地区の安倍作兵衛氏が建て祀ったといわれている。30年以上前に火災が発生し境内に保管してあった資料の多くが焼失し、歴史を紐解くことはできなくなっているが、その後、地区の方々に再建させて現在に至っている。

4月12日と12月12日に神社のお祭りがあり、地域住民あげて境内や参道の清掃を行い、祭典を開催し交流活動を行っている。

4月12日には「田の神様」12月12日には「山の神様」として地域の水田や山の安全を祈願している。

6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

本地域は由利本荘市との市町村界に位置し、婚姻による繋がりも多く昔から旧東由利町との人的交流がある。

かつては、地域を流れる軽井沢川にモクズガニが生息しており、旧東由利町の方々も「かご網」で捕獲し食しながら交流を深めていたが、現在は食生活が変化してきていることもあり、捕獲して食することは少なくなったようである。

担当連絡先	市町村・担当課	羽後町 農林課 農山村整備担当
	職・氏名	職名：参事 氏名：高橋 一夫
	電話番号	0183-62-2111内線312

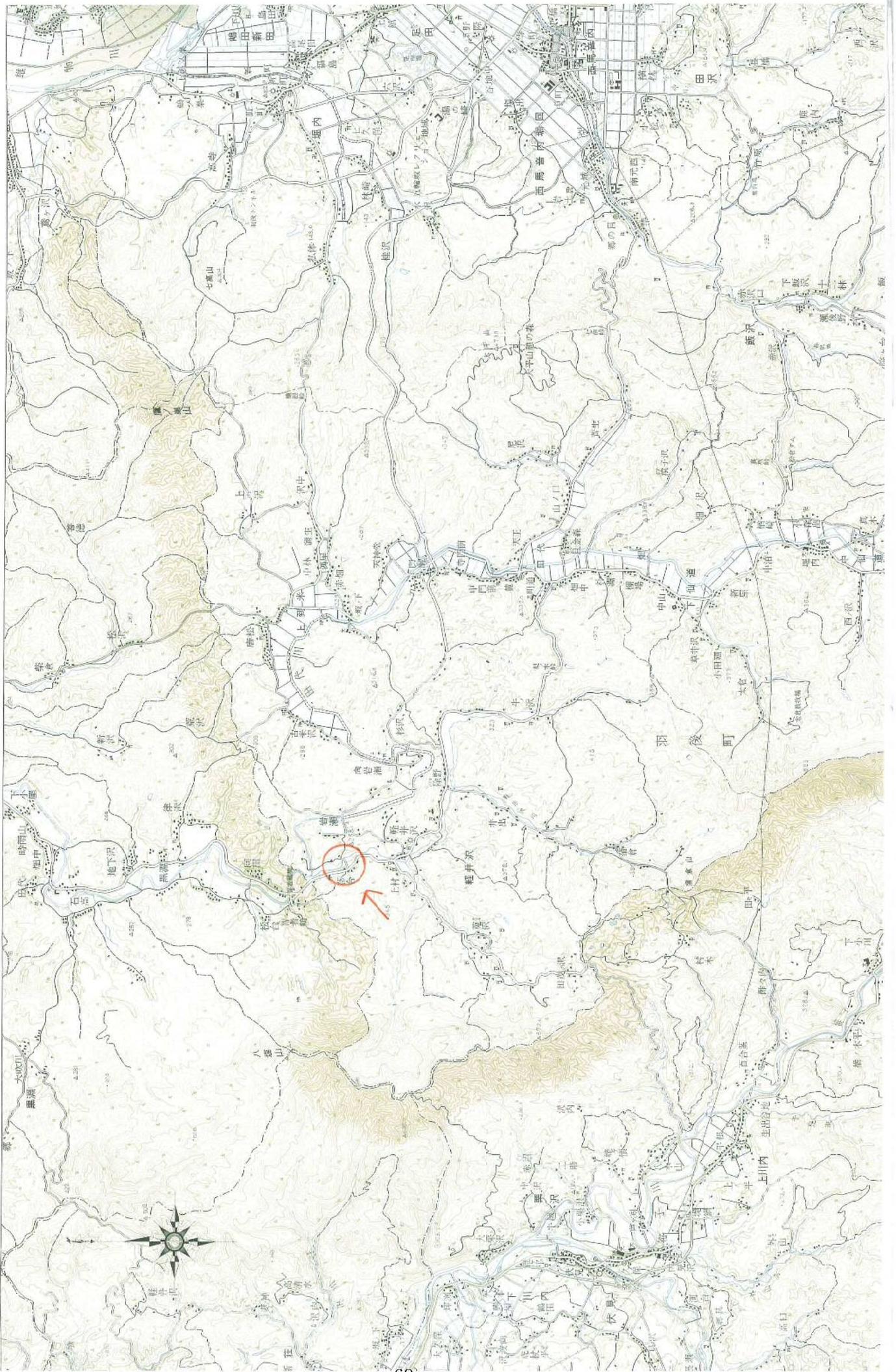
その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付





羽後町管内図



項目	評価ポイント	写真
景観	山と川に囲まれた地域で不整形田と整形田の混在が美しく、水路や畦畔の草刈り等の手入れが行き届いており、特に対岸からの景色が非常に優れている	
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数 日本型直接支払制度を活用し、集落の全世帯が参加して農地の維持保全や地域の環境美化活動を行っている	
	(2) 活動の継続年数 平成26年度から日本型直接支払制度に取り組んでいる	
PRポイント	かつて太平洋側と日本海側を最短で結ぶ「仙北道」の監視のため手倉御番所が設けられ、その石碑が残されている地域であり、歴史と地域資源を守り続けている	
	地域の神社に神輿を奉納する行事を存続しながら住民交流を図っている	
計		

(別紙1)

「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

1 棚田等の概要

市町村名	東成瀬村			
地域の所在地	大字椿川手倉集落			
棚田等の名称	手倉（新屋布・八幡下・菅沼瀬）			
棚田等の状況	総面積	9ha	棚田等の枚数	76枚
	作付面積	9ha	標高	250～300m
	休耕面積	0ha	傾斜	1/11～1/40
	耕作放棄面積	0ha		
地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合 【組織名】 手倉資源保全会・中山間手倉集落協定				
				
新屋布 八幡下 菅沼瀬				

2 推薦の理由

耕作放棄地や休耕地がなく営農に一体的な広がりがあり、地域住民が景観や環境を保全する活動を積極的に行っているため維持管理が行き届いている。

3 地域の営農・保全の状況

現在の営農は、豊富な水資源を活かしながらの水稲作付がほとんどである。
地域ぐるみで用水路の清掃・農道や水路の補修、刈り払い等の活動を実施し、施設の維持管理と環境保全に努めている。

4 地域が取り組んでいる環境・交流活動の状況

資源保全活動としては、地域のクリーンアップを春に、水路の泥上げや草刈りを夏から晩秋にかけて実施している。

また、老人クラブと親子会と一緒に花植え活動を行うことで世代を超えた交流を行っているほか、5月には地域の神社を祀って神輿を奉納するというような祭りを行っている。

5 地域の特徴

本地域は南北に長い地形をしており、東西は山に囲まれている。その地域を縦断するような形で成瀬川が流れており、そこから取水し、農業水利としている地域もある。

6 その他

この地区にはかつて多賀城、胆沢城と雄勝城、秋田城を結ぶ最短距離として「手倉越」と呼ばれるもの（他には仙北道などとも呼ばれる）があり、村の郷土史には「源義経が兄頼朝の追討を受け、これを超えて幼少時代恩を受けた平泉藤原氏へ頼ただらう」と記されている。また、手倉御番所のあった地でもあり、地域にはその石碑などが残っているなど地域資源と歴史を密接に後世に伝承している。

担当連絡先	市町村・担当課・係	東成瀬村 農林課 農林班
	職名・氏名	主事 佐々木 雄大
	電話番号	0182-47-3406

※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付

守りたい秋田の里地里山50 写真位置図

